

■先週・今週の事務局からのお知らせ

『令和 2 年度 循環資源技術説明会』（東北地方整備局対象）

日 時：3 月 26 日（金）13:30～15:15

開催方法：オンライン（Microsoft Teams）

■リサイクルポートに関連する最新の情報

1.高田港湾局長、港湾施策の展望を語る。物流の高度化、グリーン化など

高田港湾局長は 3 月 1 8 日、港湾空港タイムスなど港湾関係専門紙との記者会見を持ち、サイバーポートや A I ターミナル、I C T など先進デジタル技術を生かした省力化や競争力強化の動きを説明するとともに、港湾エリアが拠点となるカーボンニュートラルや洋上風力発電の取組み、ブルーカーボンなどグリーン施策を港湾の新たな核として重点化していく方向を示した。また国土強靱化に向けた 5 カ年加速化対策施策を推進する。

個別事業に関しては、D X の取組として、海底の地形を 3 次元で可視化できるマルチビームソナー等により水中施工の遠隔化、無人化を可能とするシステムを開発。

C N P の実現に向けた取組では、我が国の C O 2 排出量の 6 割を占める産業拠点である港湾・臨海部地域からの C O 2 削減が重要かつ効果的となる。

洋上風力では再エネに基づく促進区域全国 4 箇所 5 区域で公募手続き。長崎県五島市沖は昨年公募を終了し、現在業者を選定中。今後の促進区域指定に向けて、本年 1 月から都道府県から情報提供の受付を開始。また、今後の大型風車も想定した基地港湾の在り方については、新たに検討会を立ち上げ、1 年程度かけてとりまとめる。

2.中部空港沖土砂処分場、各種調査業務順次発注へ。3 年度内の工事着手へ準備

中部地方整備局は 3 年度から中部国際空港沖土砂処分場整備に向けた各種調査業務や、同結果を踏まえた護岸の詳細等に着手、年末～新年頃には現地工事着手へと進めていく考え。事業を担当する名古屋港湾事務所では調査が本格化する今年夏頃までには、中部国際空港事務所のフロアを借りて、現地事務所を立ち上げ。作業の効率化を図ることも検討している。

名古屋港の新たな土砂処分場となる中部国際空港沖土砂処分場の整備は、今年2月に国が公有水面埋立承認を申請、同承認が下りるまでに概ね約6ヶ月程度かかる見通しであることから、可能な範囲で各種調査を進める。名古屋港湾事務所では、承認時期のタイミングにらんで、今年度から各種調査業務を順次公告して手続きに入っている。

土砂処分場の護岸や埋立の基本設計はこれまでに終えているが、今後得られる土質調査結果等を踏まえて詳細設計を3年度に発注し、現地工事への準備を進める。

中部空港沖土砂処分場の埋立事業面積は約290ha、受入土量は3800万立方m。埋立は全体を5工区（西1工区～西4工区、南東工区）に分け、各工区とも護岸が完成し次第、土砂を受け入れていく。

3.舞鶴港和田地区第2バース整備、新年度からSCP工事へ

舞鶴港和田地区に計画している国際物流ターミナル（水深12m岸壁延長210m）が3月9日に開かれた国土交通省交通政策審議会港湾分科会第15回事業評価部会において、新規事業として適当であると答申された。事業を進める近畿地方整備局では3年度事業予算の計上を待って、事業着手する。最初は岸壁部の地盤改良工事（SCP）から着手していく考え。

計画している水深12m岸壁は港湾計画上、既設岸壁の連続バースとして位置付けられている。今回の事業評価部会での岸壁整備では水深12mとして審議、了承されているが、将来船舶の大型化等が進んだ場合は水深14mとしての機能も確保できるような設計等措置を講じておく方針。

これから整備する第2バースは水深12m延長210mで、完成すると既設のコンテナターミナルと連続する総延長560mが機能することになる。直轄が岸壁本体と直背後のエプロン部40mを整備、港湾管理者がふ頭用地（7ha）などを整備する。

舞鶴港の国際物流ターミナルの事業期間は令和3年度～9年度、総事業費は71億円（うち港湾整備事業費46億円）を見込んでいる。

※港湾空港タイムス3月22日号から編集

※新たに導入した PC とメーラーの環境では、添付ファイルが「***.dat」となったり、不要な添付ファイルが付く場合があります。受信ファイルに不具合がある場合は、気兼ねなくその旨ご指摘ください

////////////////////////////////////

発行者：RPPC 広報部会

部会長：新谷 聡 りんかい日産建設（株）

部会員：山田 安彦 日本製鉄（株）

友歳 巖 五洋建設（株）

川田 延也 東京都

齋藤 憲雄 山形県リサイクルポート情報センター

リサイクルポート推進協議会 事務局

一般財団法人みなと総合研究財団（内） 担当：押田、清水、安田

URL: <http://www.rppc.jp/> E-mail: rppc_jimukyoku@wave.or.jp

////////////////////////////////////